

【R02-24】

全人工股関節置換術における周術期抗菌薬の違いによる手術部位感染予防効果の比較

1. 研究の対象

2018年10月から2020年9月までに当院整形外科において全人工股関節置換術(THA)の手術を受け、周術期抗菌薬としてPIPC(ピペラシリン)またはCEZ(セファゾリン)を使用した方

2. 研究目的・方法

目的：周術期に使用する抗菌薬の有効性・安全性を検討することです。

方法：研究担当者が、対象となる方の診療記録(カルテ)や検査データなどの情報を基に調査・集計します。新たな診療や検査の必要はありません。

研究期間：2021年10月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診断名、年齢、性別、BMI、喫煙歴、既往歴等診療情報録(カルテ)に記載されている情報、手術データ、入院日数、使用している薬剤情報、等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

J R 東京総合病院 薬剤部

住所：東京都渋谷区代々木 2-1-3

電話：03-3320-2210(代表)

担当者： 研究責任者 河原 陽介 (薬剤部 薬剤師)

-----以上